

【展示写真解説】

下之一色散歩

* 写真は5月18日の撮影です。

* 写真番号①～⑬は、散歩地図上の番号に対応しています。



① 下之一色歩道橋から見た東側の様子です。



② 下之一色青果市場です。



③ 街中の青果店です。盛時は130以上の商店がありました。



④ かつての銭湯です。1965(昭和40)年ごろまでは7軒もの銭湯がありました。



⑤ 神楽の倉庫。一色祭りでは、彫刻で飾った豪華な神楽(屋形)が町内を巡ります。



⑥ 漁港跡の案内板。漁業で栄えたため、1937(昭和12)年、名古屋市に合併するまで近隣町村と合併せずに単独の町として発展してきました。



⑦ 河岸から見た新川。現在、地区の西側には新川が流れていますが、明和4(1767)年の付け替え工事までは、庄内川が流れていたと推測されています。



⑧ 営業中の銭湯です。



⑨ 新しい住宅地が開発中です。



⑩ 庄内川と新川の間での堤防から、港区方面を臨んでいます。



⑪ 正徳橋。ラティス桁と呼ばれる珍しい工法です。



⑫ 昔からの家が並んでいます。



⑬ 浅間社の東側。浅間社は下之一色の氏神です。